

壮行のことば

勝負事に絶対はない

ほぼ県総体が終わりました。中にはこれで引退となる3年生もいることでしょう。3年生のこれまでの取り組みと活躍に感謝と称賛を送ります。

さて、現時点で、東北大会、インターハイに出場する部は以下の通りです。

【陸上部】 男子100m×4リレー第5位：東北大会出場

男子やり投げ第4位：東北大会出場

男子円盤投げ第5位：東北大会出場

【ホッケー部】 男子：東北大会出場 女子：東北大会出場

【弓道部】 女子個人戦第4位：東北大会&インターハイ出場

【ソフトテニス部】 女子個人戦第10位：東北大会出場

4つの部の東北大会出場、インターハイ出場おめでとうございます。弓道部がインターハイに出場するのは、久しぶりの快挙です。まずは、紙面で壮行のことばを送ります。

私は、高校時代にテニス（ソフトテニスではありません）を始め、かれこれ40年以上も続けているので、いろいろな大会で優勝を経験することができました。そのことが自信になって、今の私があるとまで思っています。

ただ、勝った試合と同じくらい負けた試合もたくさんあり、振り返ると負けた時の記憶の方が強く残っていて、あの時こうしておけば良かった、こうすれば勝てたのにといつまでもぐずぐず考えてしまう自分がいます。そして、負けてしまった原因を分析すると大きく次の3つがあげられます。

1. 自分の心の動揺に負け、力を発揮できなかった
2. 油断して、相手を甘く見て、負けた
3. 試合の前や当日に体調を崩してしまった

絶対に勝ちたいとか何としても勝たないとだめだとか、自分に必要以上のプレッシャーをかけてしまい目の前の試合に集中できず力を発揮できなかったこと。また、どんな試合でも相手がいて、その相手も必死に全力で向かってくるにもかかわらず、どうせたいした相手ではないと油断し、相手のナイスプレーに流れを持って行かれて負けてしまった経験。そして、試合前のコンディショニングづくりに失敗し、優勝候補だったのに体調不良で試合を棄権したこともあります。

勝負事に絶対はありません。ほどよいプレッシャーの中で平常心を保ち、これまでの練習の成果を発揮し、自分を尽くす。万一負けたとしても、自分の今の持てる力を十分に発揮できたと思えば、後悔のない試合になるはずです。

東北大会、インターハイに臨む選手の皆さんには、大きな舞台で試合ができることに感謝し、何も恐れることはないのです。正々堂々と戦ってきてほしいと思います。

築館高校は、この地区でも部活動が充実していて、活動も活発に行われていると自信を持っています。築高生の可能性は無限大です。納得のいく試合をしてきてください。健闘を祈ります。

